



競輪補助事業概要のお知らせ

この度、2019年度のJKA競輪公益資金の補助を受けて、下記のとおり事業を実施いたしました。



記

- 1 補助事業名 2019年度地域社会の安全・安心に資する活動補助事業
- 2 補助事業者名 公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
- 3 実施場所 30都道府県

4 補助事業の概要

(1) 事業の目的

少年の立ち直り支援を効果的に推進するためには、それにふさわしい場のあることが望ましい。農作物の栽培、収穫等の農業体験には、ひとつの物事に継続して取り組むことによる忍耐力の涵養やこれらの体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上にとどまらず、情操面における教育効果も期待でき、立ち直り支援の場としてふさわしいと考えられる。さらに、農作業活動においては、その期間中には、農作業面だけでなく、人生経験豊かな少年警察ボランティアが話し相手となり、生活面での指導等も行われており、少年の立ち直りには大きな効果が期待できる。このため、当協会では、全国の少年警察ボランティアと協力し、青少年の健やかな成長を育む活動として、実施しているものである。

(2) 実施内容

① 大学生ボランティアと農作業

栃木県少年指導委員会連合会は、令和元年6月から12月にかけて、補導歴のある少年らに働く喜びや達成感を感じてもらうため、少年延べ33人、少年警察ボランティア延べ58人、警察職員等関係者等延べ171人が参加し農業体験活動を実施した。

河内ふれあい市民農園、栃木農園、小山市市民農園の3ヵ所において、さつまいも、大根、白菜作り等農業アドバイザーや少年指導委員、大学生ボランティア等の支援を受け、畑の畝づくり、苗の植付け、種まき、草刈りを行い、収穫に至るまでの農業体験を実施した。また、農作業後の交流会では、大学生ボランテ



ィア等に温かく見守られ、収穫した野菜を使った料理や蕎麦打ちを体験した。

少年からは、「自分が植えた野菜が、台風や大雨にも負けず、たくましく育っていて感動した。」、また、大学生ボランティアからは、「様々な背景を持つ子どもたちとどう関わるか不安があったが、ボランティアの指導もあり、自然体でコミュニケーションをとることができた。」などと充実感や達成感を味わい貴重な体験をした。

② 育てたさつまいもで料理体験

広島県少年補導員連絡協議会連合会は、令和元5月から10月にかけて、農作業を通した子供たちの居場所づくりに取り組むため、非行少年等延べ30人、少年警察ボランティア、警察職員等延べ62人が参加し「農業体験及び料理体験活動、野外体験活動」を実施した。サツマイモの植付け作業を行うため、草刈り作業や耕耘機を使用した整地、肥料やりや畝づくりを行い、さつまいもの植え付け等を実施した。大半の少年が農作業は初めての体験であったが、ボランティアや農業指導員の話真剣に聞き作業を進め、終盤には少年とボランティアが協力しあって笑顔で作業した。また、料理体験では、少年らは慣れない手つきながらも、保護者やボランティアと協力し、笑顔で料理を作っていた。参加少年らは活動を通じて「仕事の大変さとやり遂げる責任や充実感と爽快感」等を実感し、「自分でもできるという自己肯定感の向上」につながった。



③ 東京で農業体験

東京少年補導員等連絡協議会は、平成31年2月から令和元年12月にかけて、様々な問題を抱える少年の立ち直りを支援するため、少年延べ272人、少年補導員等148人が農業体験を通じた支援活動に参加した。都内4カ所にある並木農園、富岡農園、須賀農園、山下農園において、ジャガイモ、サツマイモ、トウモロコシ、大根、きゅうり、ゴーヤ、トマト等を畑の畝づくり、種植え、除草、収穫・食育等の体験を実施した。体験後は、ふかし芋、にっころがし、大学芋、そしてカレーライスを育てた野菜等で料理し食した。体験を通じて少年らは、農業指導者に対し、農業体験指導へのお礼ができるようになったほか、少年自身が育て収穫した農作物を自宅に持ち帰り、家族と料理をするなど、農業体験を通じて少年自身も成長し、家族関係の改善も見られた。また、保護者からは「表情が明るくなった。落ち着いてきた。家族との話題が増えた。」等の意見が寄せられた。



5 予想される事業実施効果

少年の再非行（再犯）の看過は、将来を担う少年を健全に育成するという精神に反す

るものであり、非行(犯行)の反復は、非行(犯行)の悪質化、さらには成人犯罪者も含め社会全体の治安の悪化につながることになる。

農業体験活動によって、支援対象少年がひとりでも多く立ち直れば、少年の健全育成という国民の願いが叶い、また犯罪発生^の減少によって治安が安定し、安全・安心な社会を実現する。

6 本事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの (URL)

該当なし。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの (URL)

該当なし。

7 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：^{コウエキシャダシホウジンゼンコクシヨウネンケイサツ}公益社団法人全国少年警察ボランティア協会^{キョウカイ}

住 所： 〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門パレス303号

代 表 者： 役職名 ^{リシ・チョウ}理事長 ^{ヤマタ}山田 ^{シンキク}晋作

担 当 者 名： 役職名 ^{ギョウワカチョウ}業務課長 ^{エンドウ}遠藤 ^{いさお}功 mail-isao.e3945@kbd.biglobe.ne.jp

電 話 番 号： 03-3239-4970

F A X： 03-3556-1133

U R L： <http://zeshokyo.ecs.or.jp/>